広報伊方町

発行所 愛媛県西宇和郡 伊方町
編集 町長公室
印刷所 尾上印刷所 八幡浜市天神通 電話②0091番

大きく伸びよ 未来の子

デッカイ ぼくらの夢

町内には六つの保育所があり、四百四十七人の幼児が通っています。

きょうも各保育所からは、元気のいい歓声がこだましてきます。

回転ブランコに乗って遊ぶ幼児たちの顔は晴々と明るく、天真らんまんの姿は、じつにほほえましい。

こうした子どもは国の宝、町のささえです。

次代をになう子どもたちを大きく伸ばし、羽ばたかすにはお母さん、お父さんの愛情が何よりです。

豊かな風土の中で子どもたちの夢は、はてもなくデッカイ！先輩たちの築いた土台をいしずえとして、さらにたくましい"伊方っ子"に育ってほしい。

◇

「ゆるぎなき大地（明治）を踏まえ

父（大正）と母（昭和）に

はぐくまれ

愛児（未来）は

たくましく 伸びゆく」

（明治百年記念公園内にある記念碑文より）

（写真＝九町保育所にて）

車に用心

心のゆるみが

思わぬ 事故に

町道4.6キロメートルを舗装

有寿来地区ローカル番組見えます

第五十回臨時議会 一般会計 九億円に

伊方町議会第五十回臨時議会が八月二十五日（会期一日間）開催されました。こんどの臨時議会では、昭和四十八年度一般会計補正予算（第四号）など四つの町長提出議案が審議されました。

そこで、今回補正された予算の内容を簡単にみてみましょう。

こんどの補正予算は事業予算のみで、三つの集会所建築費、町道の改修、四・六キロメートルにおよぶ道路補装など一億一千百七十九万円が計上されました。いままでの予算額とプラスしますと総額八億九千七百四十八万円となり、約九億円にのぼる大型予算にふくれあがりました。

こうした九億円に近い予算は、暮らしと町づくりのために、町としては創意工夫して予算化したものです。

三つの集会所建設

同受信アンテナ一基を設置し、幹線ケーブル七千四百メートルを布設、各家庭へ引き込みを行うことによってNHK松山、南海放送などのローカル番組を受像できるようにします。

この施設が完了した場合、有寿来地区八十五戸の家庭では、ローカルニュースが見られ、お茶の間の話題になる日も間近です。

◎総務費

町営住宅移転用地購入費 五百四十四万円

有寿来地区テレビ難視聴対策費 二百九十四万円

有寿来地区（伊方越、亀浦）では、現在、愛媛県内に住みながらテレビのローカル番組を見ることができません。

県外の山口放送や大分放送しか受像できず、県内のニュースは疎遠になりがちでたいへん不自由を感じていました。

そこで町では、これの対策に共同で手動のヤンマーエンジンでポンプアップしていましたが、不便な関係上、自動式の電動機を据えつけます。

◎民生費

湊浦二下水排水路工事費（三方所分） 六十二万円

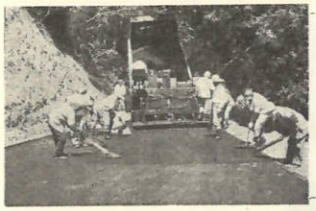
川永田二下水排水路工事費（四カ所分） 七十万円

湊浦二は総延長百五十一メートル、川永田二総延長八十七メートル、計百三十八メートルの下水排水路を整備します。

九町船場飲料水施設 七十二万円

同地区の飲料水施設は、現在まで十一万円追加され総事業費は六千九百七万円もの巨費になりました。

農道新設として、単年度事業で三カ所新設するものです。



生活圏道路を優先的にアスファルト舗装が進められており、この近年舗装率も、グーンとアップ町道の百%舗装をめざしています。

◎農林水産業費

豊之浦農道新設工事 この豊之浦農道新設については七月号で紹介していますが、こんど二千二百四十一万円の巨費になりました。

豊之浦農道新設工事費 二百六十九万円

川永田成安線新設工事費 二百八十万円

仁田之浜荷揚突堤築造工事 二百六十九万円

仁田之浜港西側にある防砂堤をさらに延長十九メートル（幅員二メートル）のばす工事です。

既設の臨港線道路から、こんど新設される豊之浦農道に通じる道路です。

二年計画で施工され、幅員は四・五メートルです。

◎土木費

道路改修に2,700万円

二見大松線改良 一千万円

湊浦河内線改良 一千万円

川永田豊之浦線改良 四百万円

湊浦伊方越線改良（県費） 三百万円

これら四線のカーブ改良や勾配改良のほか、幅員のせまい箇所を四メートルから五メートル道路に拡幅改修がなされます。その費用に二千七百万円計上されました。

町道の改修と同時に路面舗装も大幅に施行され、つぎにかかげる五線の町道を二千百五十万円で、約四千六百メートルアスファルト舗装に仕上げます。

伊方越臨港線舗装 八百五十万円 施工約一千八百メートル

湊浦河内線舗装 五百万円 施行約一千百四十メートル

中之浜城之首線舗装 五百万円 施工約一千四十メートル

大成鳥津線舗装 百五十万円 施工三百六十六メートル

伊方越亀浦線舗装 百五十万円 施工三百八メートル

豊之浦臨港線新設工事 七百万円

◎衛生費

簡易下水道整備事業として今回四つの部落で総延長四百十九メートル、三百五十九万円の費用で三面張り水路に改修されます。

部落および事業費は、つぎのとおりです。

伊方越簡易下水道整備工事費 延長二百十二m 二百二万円

田之浦簡易下水道整備工事費 延長七十五m 六十二万円

二見簡易下水道整備工事費 延長九十一m 六十一万円

古屋敷簡易水道整備工事費 延長四十一m 三十五万円

投入するわけです。

大成漁港しゅんせつ工事費 百五十万円

大成港内に堆積した土砂をとりのぞく費用です。

現在の水深〇・七メートルを一・五メートルにし漁船の係留を容易にするものです。

亀浦舟揚場新設工事 七十七万円

既設の舟揚場前に長さ五メートル、幅四・八メートルの舟揚場を新設するものです。

◎消防費

仁田之浜地区消防施設整備事業 百二万円

仁田之浜の海岸からエスロンパイプ（六・五センチもの）を部落内に六百メートル定置配管します。

本町の場合、消火水利としては大きい河川がない関係上、どうしても海水にたよるしかなく、年々こうした送水管施設がなされ万一の火災に備えていますが、こんども整備されていきます。

◎災害復旧費

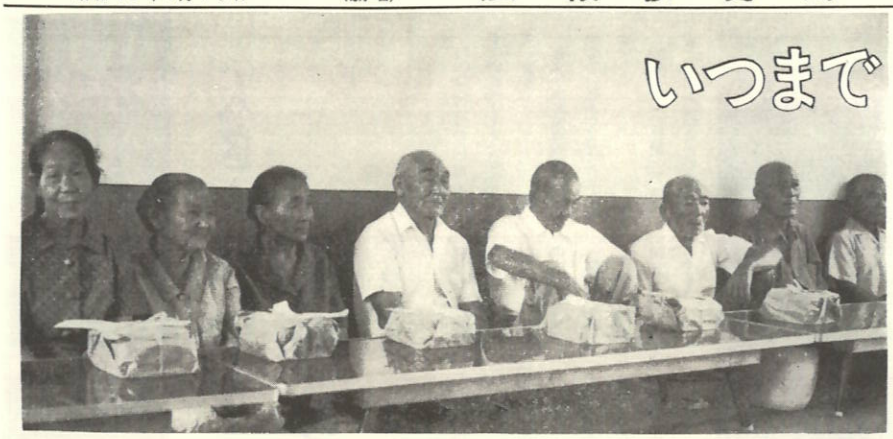
仁田之浜農道災害復旧 二百三十万円

大浜波戸農地保全 百七十七万円

が補正計上されました。

いつまでもお元気で

9月15日「敬の日」



お年よりにしあわせを

この最近〝福祉〟という声をよく耳にし、目でみる。こうしたなかで、ことしも九月十五日にあたる「としよりの日」がきた。この日は、祝日として国、県、町、家庭あげての〝お年よりサービスデー〟であり、〝一日お年より天国〟である。

また、老人福祉の重要性をさけばれるのもこの日である。しかし、この日限りの「老人最良の日」であってはならない。現世の社会づくりに大きく貢献されたお年よりが、いろいろな境遇にあることを反省し、改善して行く必要があろう。

そこで、この機会にお年よりのしあわせを願い、どのような施策がほどこされているのか、のぞいてみた。

九月十五日は、第二十二回目の「としよりの日」です。

十五日から一週間は、老人福祉週間です。

日本人の平均寿命は、毎年伸び男子七十、五歳、女子七十五、九歳と先進国の仲間入りをしました。

世界一長生きする国は、北欧のスウェーデンで日本は第六位にランクされています。

寿命がのびるということは、たいへんすばらしいことといえましょう。しかし、経済的にも精神的にも恵まれないお年よりが多いことを忘れてはいけません。

町内のお年よりは、現在の伊方町発展の基礎づくりにはげまれた大切な人たちです。

お年よりのしあわせをみんなで考え、身近なところからあたたかい手をさしのべてあげる必要があります。

町人口の十三%

伊方町の老年人口（六十五歳以上）は、四月一日現在の調査では一千百五十人で、この数字は町の総人口の十二・六%にあたります。

伊方町のお年よりの占める割合は、全国平均数値よりも五%も高く〝お年よりの町〟〝長生きする町〟といえましょう。

しかし、このことは町全体のなかで若年層の都市への流失による老齢化の町になりつつあるといえるかと思います。

全国的に年々お年よりの数は、ふえており、さらにふえて行くことは必然的です。

そこで国、県、町ともにお年よりの福祉を高める施策が大切なことはいうまでもありません。

現在、国、県、町が老人福祉のため、いろいろな制度や事業を行っていますが、そのうちおもなものをみなさんに紹介しましょう。

80歳以上 長寿祝金（5千円）

長寿祝金支給＝昨年から八十歳以上のお年よりに長寿祝金として五千円支給しようとされています。（昨年までは三千円でした）

町内に該当者が二百六人あり、支給総額百三万円になります。

この長寿祝金は、お年よりのみなさんのおこずかいやお孫さんのお菓子代にと使途はさまざまなよう。

七十歳以上 医療費が無料

老人医療費の無料化＝ことし一月から七十歳以上のお年よりが病院にかかる場合、医療費は無料になりました。

町の負担は年間約五百万円ぐらい必要（見込み）です。

また、寝たきりの六十五歳以上で六十九歳までのお年よりも医療費は無料です。

このほか、所得保障制度として国民年金の老令年金、老令福祉年金などがあります。

特殊寝台を貸与

町では特殊寝台を四十五年に八台、四十六年に十台、四十七年に五台、計二十三台を購入して無料で貸与しています。

また、ことしも五台購入するよう計画しています。もし、ベット借用を希望される方は、役場民生課又は、部落の民生委員さんへ申し出てください。

家族とともに
敬老は何をせずとも
これが最高

老人クラブ 敬老会の助成

町内には二十四の老人クラブがありますが、町としてはその育成費に六十八万円予算化しています。

また、毎年各老人クラブ単位で盛大に行われている敬老会の経費にと、お年より一人当り三百五十円（昨年まで二百五十円）を助成されます。（総額四十四万円）

十月に老人福祉大会 金婚組に金盃

ことしは福祉法が制定されてからちょうど十年目にあたりますが、町では、これを記念して「伊方町老人福祉大会」を十月に開催するよう計画しています。

十周年にふさわしい、もりたくさんの企画がなされており、特にこの大会の席上、夫婦和合のもと金婚式を迎えられた約七十五組の「おしどり夫婦」に記念品として町より金盃が贈られます。

＝米寿（八十八歳）＝

ことし、かぞえて八十八歳を迎え米寿になられたおじいちゃん、おばあちゃんは、つぎのとおりです。

県知事より木盃、町長から赤い座布団とお祝状を記念に贈ります。

おめでとうございます。

足利　時繁（中　浦）
大星　政一（川永田）
河野助右エ門（豊之浦）
井上　トミ（豊之浦）
川内ハツノ（　向　）
高橋　セイ（古屋敷）
鳥津イセキ（鳥　津）
（敬称略）

県知事よりの木盃、町長からの赤い座布団とお祝状は、各地区で開催されます敬老会の席上、手渡されます。

家庭奉仕員さん ありがとう

町には、一人きりで寝たきりの老人や、身よりもなく一人でくらしておられる「孤独な老人」に愛の手をさしのべるため二人の家庭奉仕員（ホームヘルパー）がいます。

すいじ、せんたく……
どの仕事も愛情が何よりです

こうした恵まれないお年よりのお世話をいただいている人は、川永田の門田キミカさんと久保の松田タカヲさんです。

現在、門田さん、松田さんともに六家庭を受持ち、自分の受持ちするお年よりの家庭を一週間に二回訪問して、身のまわりのお世話や相談相手となっています。

せんたくやそうじ、衣服のつくろいもの、食事の準備などしてよろこばれています。

奉仕員の門田キミカさんは「せんたくやそうじなどはもちろんのことですが、最も大切なことは、老人たちとの対話を深め、心と心のつながりを結び、何でも気軽に相談にのってあげることです。

とかく孤独心の強いこうしたお年よりの心のとびらを開き、もみほぐすことに気をつけています」と話されていました。

お年よりによって、気性のはげしい人、そうでない人、また、気分のよい時、悪い時などあり、本当にご苦労の多い仕事ですが、がんばってください。

肩も心もほぐれます
あたたかい指先がおばあちゃんの心につたわる

心と心のふれあいこそ大切なものはありません

〝またきてくださいよ、
玄関口での会話のひとこま

仲よくするコツは

お年寄りと仲よくするためのコツは、いろいろなところでいろいろといわれています。

過保護もいけないし、過労もいけない。赤ん坊のつもりでケンカをするな。その他いろいろな有益なチエがのべられています。

ひとくちに、老人といってもそれぞれ好みは千差万別で、とりまく家庭の諸条件もいろいろです。

一、老化による生理的、心理的変化について、家族全員の正しい理解といたわりが何よりです。

二、家族は、老人の果してきた役割や深い経験を尊重して、今の生理的心理的条件の範囲で、なお適切な任務分担をもって、家庭と社会のために働いてもらうようにすること。

三、老人にも、最後まで家族と社会のためにつくすことが、本当に人間としての一生を今うする思われます。

四、負担にならない方向で、家族とともに新しい時代の空気をつとめて吸ってもらうようにすることであったりする根本をふまえながら、個々の家庭の中でも、社会保障制度の改善する余地は無数にあるとも思われます。

老人と仲よくするコツは、他人のおチエ拝借の中にはないといってもよいかもしれません。

それは、老人問題の根本をふまえた家族と老人の美しい協力の中にしか生まれてこないと、いえましょう。

（〝暮しと健康〟九月号から）

町内一の長寿
三好イセさん(湊浦)
断然女性が優位

ことしも、左の表のとおり、お年より番付をつくってみました。

これをみますと、町内の最高長寿者は湊浦の三好イセさんが九十六歳で西方(女)の横綱。

東方(男)の横綱は古屋敷の本山宮吉さんの八十九歳です。

部落別にみてみますと、川永田の七人がトップ。つづいて豊之浦の六人、河内の四人となっており以下湊浦、小中浦、須賀が三人づつ番付表に顔をだしています。

また、番付表は紙面の都合上、男子八十四歳、女子八十八歳までの三十九人にしましたが、これをみてもらえばわかりますように、寿命に関する限り女性がリード。

これを反映して、高齢者も断然女性優位となっています。

地区別にみてみますと、伊方地区が二十七人(六十九%)、町見地区は十二人(三十一%)で伊方地区に長寿者が多いことを物語っています。

現在社会のためにつくされ、はげまれたこうしたお年よりが、こんども健康に気をつけられ、長生きされることをお祈りします。

お年より番付

動進元 伊方町 (昭和48年9月5日現在)

東方(男)

位置	氏名	年齢	住所
横綱	本山 宮吉	89歳	古屋敷
大関	中田 仙松	89	豊之浦
関脇	佐々木秀吉	88	古屋敷
小結	岩井 鹿市	87	小中浦
前頭	大星 政一	86	川永田
〃2	河野助右エ門	86	豊之浦
〃3	足利 時繁	86	中浦
〃4	山本萬一郎	86	小中浦
〃5	川口 寅吉	86	二見
〃6	田中 大吉	86	湊浦
〃7	浜野喜惣治	85	川永田
〃8	脇田愛之助	85	畑
〃9	河野幸之助	85	豊之浦
〃10	兵頭 勇佐	85	湊浦
〃11	古田 源雄	85	田之浦
〃12	浜中鹿之助	84	中之浜
〃13	岩見 久松	84	豊之浦
〃14	浪下 福松	84	須賀
〃15	兵頭 徳一	84	川永田
〃16			

西方(女)

位置	氏名	年齢	住所
横綱	三好 イセ	96歳	湊浦
大関	木戸 マヨ	94	河内
関脇	篠上 ワキ	93	川永田
小結	二宮 ゲン	92	河内
前頭	三根生トラヨ	91	須賀
〃2	菊池 モセ	91	川永田
〃3	岡田 ヤツ	90	川永田
〃4	新口 ナカ	90	大浜
〃5	山口イセノ	90	河内
〃6	竹本ユメヨ	90	須賀
〃7	井上 ミナ	90	奥
〃8	川内イワノ	90	向
〃9	神野 マサ	90	伊方越
〃10	田縁 モト	90	川永田
〃11	山下 ヒデ	89	西
〃12	高石ハマヨ	89	豊之浦
〃13	小林サカエ	88	加周
〃14	渡辺 セツ	88	小中浦
〃15	渡辺 コト	88	河内
〃16	中田 シカ	88	豊之浦

満年令で男子は84歳、女子は88歳までに達した人をのせました。

ちょっと一言
広げよう人間関係の輪

伊方婦人会長 堀口カメヨ

九月の声とともに朝夕は秋の気配を感じる季節となりました。

私、婦人会長という大役を拝命しましてより、早くも五方月の月日を重ねました。

九月には、会員の意識すら忘れがちな現状です。

その中にあって婦人に課せられた問題は数多くあります。

多くの諸問題をかかえ、私たちはおのずからよりよい組織、環境づくりが生まれるのではないでしょうか。

古い習慣から抜けだし、伊方町あげての新生活運動の展開にみんなで参加し、住みよい町づくりに邁進しようではありませんか。

ついては、県四団体が打出しています花輪廃止運動には、さっそく町有志の方のご賛同を得ましたことを、この紙上をおかりして厚くお礼申し上げますとともに、こんごともよろしくお願いします。

何分にも未熟な私たち婦人会ですが、町民をっあたたかい心でお育てください ますようお願い申し上げます。

切ではないかと思います。

あたたかい心のふれあいの場を支部活動に求め、知恵をだしあい、研究、工夫、努力するならば、おのずからよりよい組織、環境づくりが生まれるのではないでしょうか。

この間、諸行政の方々のご指導をいただきながらどうにか歩みをつづけております。

さて、伊方婦人会も発足以来五十有余年の歴史を経て現在にいたっています。

しかし、この婦人会も変ぼうする時代の波に押し流され、あまりにも忙がしい婦人の立場で

地域に即した社会づくりをめざす一方、家庭にあっては良き母であり主婦であらねばならない私たちです。

それには一人一人が心身ともに健全であり、信じあえる仲間づくりの基礎である人間関係の輪を大きく広げることが最も大

一人ぐらしに愛のテレホン

独居老人の家庭に町が〝愛のテレホン〟を設置しました。

これは、一人ぐらしのお年よりが近隣の一家庭とテレホンで会話ができるようになっており、困った時など、ボタンを押せば連絡ができるようになっています。

町では、テレホン設置を希望するお年よりの約八十家庭にとりつけました。

このテレホン一台がどれだけお年よりの心によりどころと光明を与えたことか、その果す役割は大

テレホンがつきました。
ひとりぼっちのお年よりになかなか好評です。

で、お年よりたちはたいへんなよろこびようです。

川永田の上田キクさんは「毎朝、うえの家(岡本愈一氏)の子どもから電話(テレホン)がかかってきて〝バアバアーおはよう〟といってくれます。便利にしてもらいました。

何か心丈夫になったようで、ありがたいことよの〜長生きしようものよ」とよろこびと感謝を満面にあらわしていました。

税金の使いみち

私たちの社会生活を、便利で豊かにするための分担金、つまり税金はどのように使われているのでしょうか。

昭和四十八年度国の一般会計予算は十四兆二千八百四十億円ですが、このうち約八千億は、わたしたちの納めた税金でまかなわれています。

そこで、私たちが国に納めている税金の使いみちを、税金一、〇〇〇円あたりで説明しましょう。

◎道路や住宅などの整備一九九円

◎地方財政の援助に一九八円

◎国民の健康や生活を守るために一八一円

◎教育と科学技術の振興一一〇円

◎国土の防衛のために六五円

◎国債の償還や利子支払に四九円

◎その他、いろいろな国の施策をまかなうために一九一円

合計 一、〇〇〇円

このように、国は、私たちの生活をより豊かで住みやすくするため、税金を有効に使うよう努力しています。

アメリカ駆け足旅行記 (2)

「教育をみる」中学校から単位制

伊方中学校教頭 亀井誉充

整然とされた道路

アメリカ市内の道路は、ほとんど二、三車線あり、しかも駐車ができるだけの余裕があります。

人間優先のマナーが徹底しており、一歩でも人がふみだしたら車は止まってしまいます。

日本のように警笛を鳴らしながら走りすぎるのとはちょっとちがうようでした。

道路を走っている車も大型車はかりで小型車はほとんどみかけなかった。また、アメリカは車検がないそうですが、整備はゆきとどいているようのこと。

特にアメリカは車の盗難も多く一日に平均二百七十一台も盗まれ日本からの輸入が百二十四台だそうですので、その二倍量の車が毎日盗難にあうそうです。

郊外を走るハイウェイは片側六車線くらいのすばらしいものでどこまでも、まっすぐつづいているように思われました。

国立美術館(ワシントン)の名画前にて

首都ワシントン すばらしい自然環境

ワシントン市内の六割が道路と公園であるといわれ非常に整備された美しい町なみでした。

大理石造りの豪華な記念館などが多く首都としてのたたずまいをしていました。

日本からの桜並木も有名で、桜の満開時は日本よりも、きれいな色どりをみることができるそうです。

なぜならワシントンは工場等が全然なく、飛行機も上空を飛ぶことを禁止されており自然環境を守るきびしい規制をしているとのことでした。

博物館、美術館も世界一だとわれ非常にすばらしいものでした。

十六メートルもある恐龍の化石、日本では見ることのできない数々の化石群。

また、公園、広場には全部芝生を植えてあり、しかも芝生という のは人間がその上で楽しむ場所であるのだそうで、日本のように、「ことがわからない、理解できないこの芝生の中に入るべからず」というような立札はありません。

アーリントン墓地は、広大な敷地に十五万柱の英霊がねむるといわれ、整備された芝生の中に墓標が整然と並べられており、観光化され、全国各地からたくさんの人が訪れていました。

ひときわ高い丘にジョン・F・ケネディーのお墓と永久にもえつづけるという火がもえさかっており、多くの参拝者がありました。

充実された施設 個人別にロッカー

アメリカは幼稚園から高等学校まで義務教育といわれており、学校内の環境がよく、施設設備の点でも一歩先んじている感じです。

ニューヨークで私立の中学校を訪問しましたが、科目はほとんど同じでした。

その学校にはエレベーターが用意されており、階段をあがれない生徒が利用するそうです。

金属製のロッカーが一人に一個づつ用意されているのに驚きました。学校の通学は、ほとんどの生徒はスクールバスを利用するとのことでした。

校長先生に一番困っていることは何ですかと質問したところ「この年代の生徒は熱意があって熱心だが、家庭に帰ると、何もしない。年をとるにしたがい独立し、酒、タバコをのむこと。また、この年代の両親は、子どものやることがわからない、理解できないとだそうで……」日本のご父兄と同じような悩みをうったえていました。

小中学校では教科書等は学校に置いており、家庭にはもって帰らないそうで、宿題もほとんどないとのことでした。

丁度、私たちが行ったときは、サマースクールでしたので普通の授業時の風景はみられませんでしたが、教師が一斉に指導するのでなく、生徒が自分の能力に応じて学習を進めて行くそうです。

中学校から単位制で夏休み等を利用して単位をとると一年ぐらい早く卒業できるようで、なかには十七歳の大学生もいるとききました。しかし、大学に入学できても簡単に卒業ができないのがアメリカの大学の特徴です。

コロンビア大学には、毎年日本人が八十人ぐらい入学するけれども、卒業は六人ぐらいとのことでした。

長くかかるので家族もちの大学生が多いとか聞きました。

給料は週給制

アメリカ的な〝働く〟という考え方は、月給のため、自分のために、たのしむために働くというふうに割りきった考え方をしています。

週給制で一週間ごとに給料をもらうのですが、現金での支払いではなく、チケットでもらい銀行で現金化するそうです。

とにかくアメリカでは、たくさんの現金はもち歩かないことが鉄則のようでした。

第一週目の給料は住宅費に、第二週目は食費に、第三週目は衣料費に、第四週目は貯金にするということのようでした。

どこの住宅街に住んでいるということで、その人のおよそのサラリーがわかるそうです。

◇

以上、十六日間のアメリカ大陸の広大な土地を駆け足旅行でしたので、人の話、目で見たこと、肌で感じたことを書きましたが、要を得てない点もあろうかと思います。その点あしからず……

(筆者)

軽自動車の車検 十月一日から

軽自動車の車検が十月一日から始まることになりました。

現在、ナンバーをつけて使っている軽自動車の検査を受ける期限は、軽自動車届出証の届出年月日により、左の表のようにきめられています。

この期限内に検査を受けないと使用できなくなりますので、なるべく早目に受けてください。

◇

検査を受けると検査標章（ステッカー）と検査証が交付されますので、検査ステッカーは前面ガラスの中央上部にはってください。

また、検査証は自動車に備えつけてください。

検査を受けるときは、つぎのものが必要になります。

◎現在ナンバーをつけて使用している車

○新規検査申請書
○軽自動車届出済証
○保安基準適合証（民間車検を受けた場合）
○自賠責保険証明書（保険期間二年をこえるもの）
○印鑑
○検査手数料六百円（民間車検を受けた場合は四百円）

◎新らしくナンバーをつけて使用する車

○新規検査申請書
○完成検査終了証（型式指定の新車）
○使用者であることを証明する証明書等
○使用者の住所を証明する住民票等
○自賠責保険証明書（保険期間が二年をこえるもの）
○重量税納付書（新車1千五百円）または非課税証明書（中古車）
○印鑑
○検査手数料六百円（型式指定の新車は四百円）

届出年月日		検査期限
昭41年12月31日以前		昭和48年　10月
昭和42年　1月　1日から	昭和42年12月31日まで	〃　11月
昭和43年　1月　1日から	昭和43年　7月31日まで	〃　12月
〃　8月　1日から	〃　12月31日まで	昭和49年　1月
昭和44年　1月　1日から	昭和44年　4月30日まで	〃　2月
〃　5月　1日から	〃　8月31日まで	〃　3月
〃　9月　1日から	〃　12月31日まで	〃　4月
昭和45年　1月　1日から	昭和45年　3月31日まで	〃　5月
〃　4月　1日から	〃　6月30日まで	〃　6月
〃　7月　1日から	〃　9月30日まで	〃　7月
〃　10月　1日から	〃　12月31日まで	〃　8月
昭和46年　1月　1日から	昭和46年　3月31日まで	〃　9月
〃　4月　1日から	〃　6月30日まで	〃　10月
〃　7月　1日から	〃　9月30日まで	〃　11月
〃　10月　1日から	〃　11月30日まで	〃　12月
〃　12月　1日から	昭和47年　2月29日まで	昭和50年　1月
昭和47年　5月　1日から	〃　4月30日まで	〃　2月
〃　5月　1日から	〃　7月31日まで	〃　3月
〃　8月　1日から	〃　10月31日まで	〃　4月
〃　11月　1日から	昭和48年　1月31日まで	〃　5月
昭和48年　2月　1日から	〃　4月30日まで	〃　6月
〃　5月　1日から	〃　6年30日まで	〃　7月
〃　7月　1日から	〃　8月31日まで	〃　8月
〃　9月　1日から	〃　9月30日まで	〃　9月

漁業センサスにご協力を

11月1日 調査

農林省では、ことし漁業センサスという漁業に関しての大がかりな調査を実施することになりました。

この漁業センサスは、漁業の国勢調査ともいい、水産行政のための基本的な調査で、五年ごとに行なわれ、今回が第九回目にあたっております。

漁業センサスは、漁業の変化と現在のありのままの姿を調べ、この結果を統計的に整理して、国をはじめ各レベルの行政機関でこれからの施策のための指針として利用されるものです。

このほか民間においても貴重な資料として広く各方面に活用されます。

調査は、八月一日から行なわれる準備調査と十一月一日に実施する本調査の二つに分れておりますが、いずれの調査にも特別に任命された調査員が漁業者のみなさんの家庭にお伺いし、いろいろ聞きとりをすることになっています。

聞きとりした内容については、これを統計の目的以外に利用したり、他にもらしたりすることは法律でかたく禁じられていますので、ご心配なく、調査の重要性をじゅうぶんに認識いただき、ご協力いただきますようお願いします。

第十四分団が優勝

消防操法競技大会

優勝　第十四分団（九町東）
二位　第十五分団（九町西）
三位　第八分団（川永田）
四位　第二分団（中之浜）
五位　第十三分団（向）

なお、優勝した第十四分団には道上正前団長（仁田之浜）より優勝旗が贈られました。

「統計の日」

十月十八日に制定

情報化時代といわれている今日、統計がもたらす役割は、ますます重要となってきました。そこで十月十八日を「統計の日」と定められました。

ありがとう

小中浦の三好和市さんより香典返しにと町の更生金庫へ一万円の寄付がありました。

心あたたかな好意に対し、紙上より厚くお礼申し上げます。

秋の全国交通安全運動

9月21日～30日まで（10日間）

歩行者、幼児および小学校低学生児童、老人の事故防止

交通事故の恐しさは、誰もが知っている。しかし、いっこうに事故はへらない。何故でしょう。歩行者も運転者も事故の恐しさを再認識する必要がある。あなたが「事故にあわない」「事故を起さない」保障は何もありません。みんなで気をつけましょう。

保育ノート (4)

▽やくそく△

伊方保育所長　山本富士子

私たちの伊方保育所では、毎週月曜日を、「おやくそくの日」にきめています。

集団生活の中で、より楽しく安全にすごすには、どのようなことを守ればよいかねません。

それだけ約束したことを大切にするのです。

案外大人の方がその場限りの約束をしたり簡単に破ったりしていることがあるのではないでしょうか？。

ついこの間もこんなことがありました。

いつもは友だちといっしょに帰えるKちゃんが「きょうはお母さんがお迎えに行ってあげる」とやくそくしたからといって待っていましたがいつまで待っても来ないお母さんにとうとうたまりかねて泣きだしてしまいました。

保母さんに手をひかれて帰って行くしょんぼりした後姿を見ながら、どんなにか小さい心が傷ついたことかと、胸のいたむ思いがしました。

約束は守ることが鉄則です。そして約束は互の信頼の上になりたつものです。

ささやかな一つ一つの約束を守ることの積み重ねが、大人になった時、交通法規や法律を守れる人間を育てることになるのではないでしょうか。

そんな意味からも、子どもとの小さな"やくそく"を大切にしたいものです。

かを子どもたちとともに考え、話し合いを通して一週間特に守らなければならない"やくそく"をきめます。

月曜日の朝は休日のダしか、何となく気の抜けたようなそれでいて前の週とは違った新しい顔で登園します。

朝の集会で先週の"おやくそく"の反復をしたあと、新しい約束ごとをみんなできめるのです。

子どもたちは、きめられた約束は一生懸命守ろうと努力します。

時々ルール違反をしようとする子どもがいると、他の子どもたちのはげしい集中攻げきにあ

"やくそくの守れる人手をあげて"の先生の声に、全員がごらんのとおり。やくそく守るよい子たちばかりです。

（善意箱）

献本に感謝

中央公民館内にある図書館に、つぎの方々から献本がありました。紙上より厚くお礼申し上げますとともに、有意義に利用させていただきます。

木戸幸子さん（河内）三十六冊
旅岡徐草さん（東）十二冊

もしあなたのご家庭で愛読すみの蔵本で図書館へ献本するものがありましたら中央公民館まで、申し出いただきませんか。

広く一般のみなさんに読書願い役立てたいと考えます。

―おわび―

先月号広報の一面で、公民館研究大会開催の記事中「生活運動の推進」分科会報告の欄で、現在、生活運動とともくみ部落法人として実行中の部落の中で、小中浦部落が記載もれになっていました。

小中浦部落は、部落でも独自の生活運動推進協議会を結成しており、年間の事業計画等をつくり冠婚葬祭改善に部落ぐるみで実践している町内でも先進地区です。

ここに、記載もれになっていたことに対し、おわびし紹介します。

―お礼―

北九州市八幡区上津役上の原町にお住いで山口建設を経営されている山口繁明氏（二見出身）より五千円。

松山市小栗町一の五の二九にお住いの阿部初男氏（九町出身）より五千円。

山口県宇部市東区見初町一丁目にお住いの辰岡武氏（須賀出身）より三千円。

福島市飯坂町平野字明神脇三三の四にお住いの菊池孝芳氏（川永田出身）より三千円。

それぞれ広報編集費用にと寄付いただきました。

紙上より厚くお礼申し上げますとともに、ご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

人

昭和48年7月末現在
世帯数 2,469戸（－3戸）

人口 9,095人（0）｛男4,326人（－5人）｝｛女4,767人（＋5人）｝

えんむすび

昭和48年7月1日
7月31日

氏　名　挙式　本籍地

お誕生 おめでとう

昭和48年7月1日
7月31日

おくやみ

昭和48年7月1日
7月31日

死亡者　年令　住所